



豆知識！

予算審査特別委員会は、富士宮市議会議員全 21 名で構成されており、議員は、予算審査特別委員会時は、“議員”ではなく“委員”と呼ばれます。

A 基本方針…どのような博物館を作るのか概念的なもの
基本構想…類似事例の調査、施設内容規模の検討など
基本計画…建設費用がどれだけかかり、何を作るのか
上記要素の中で、一部構想と計画は重なる部分があると考えています。



A 白糸自然公園も富士さくらの園も建設候補地に入っています。その他にも候補地はたくさんありますが、基本構想の中で決めていきたいです。



市

A 市民文化会館改築時の博物館併設案、新築する児童館との併設案、また、学校の空き教室や芝川会館の活用、大鹿窪遺跡近くでの建設など、いくつかの案を基本構想の中で検討していきたいです。



A 計画の中では、市の職員でできないところを専門業者に委託していきたいです。
専門業者の知恵を借りて、皆さんに判断材料を示していきたいです。



A 観光ありきではなく、資産・史跡を紹介することが、結果的に観光に結びつくことが最も良いと考えています。
施設の本来的役割を見失わず、かつ慎重に色々な可能性を考えながら進めていきたいです。

A 市民の願いである郷土史に対し、きちんと真実を伝えるものを作るべきと考えています。
郷土史博物館については、富士山世界遺産登録 10 周年の年 (2023 年) に、歴史的記念として完成を目指したいが、それは希望であり 10 周年に合わせた完成にこだわりません。

賛成者少数により、この考え方は委員会としては否決されました。しかし、一定数の委員（議員）がこういった考えを持っていることは、今後の検討事業を進める上で、十分に影響すると考えられます。

賛成者多数により、この考え方が委員会として可決されました。今後も議会は、(仮称) 郷土史博物館検討事業について注視していきます。

ポイント！ 全委員（議員）が、富士宮市の郷土史を後世に伝える事業の重要性を認識している点では一致していましたが、検討事業の進め方に対しては、大きく 2 つの考え方に分かれてきました。